

| | |
|--------|--|
| 研究課題名 | 広島野球障害検診による少年野球選手の運動器障害の疫学調査 |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生 |
| 研究期間 | 2022年2月25日(倫理委員会承認後)～ 2027年 3月 31日 |
| 対象者 | 2015年1月から2026年3月の間に、小学生・中学生を対象とした広島野球障害検診にて検診を受けた検診参加者。 |
| 意義・目的 | <p>野球によるスポーツ障害は肩関節や肘関節に多く、特に小学生や中学生などは無症状のまま進行することが多く、症状が出現した際には手術が必要なほど病状が進行していることが多いです。そのため無症状である早期のうちから障害を発見することが望ましく、若年者の野球選手の運動器</p> <p>いうものを行っています。</p> <p>野球選手に発生する運動器障害には、様々な患者背景が知られていますが、その全容は未だ不明です。そこで本研究では、広島野球障害検診で得られたデータをもとに、若年者の野球障害とその発生因子の検討を行うことを目的としています。</p> |
| 方法 | <p>本研究は、広島野球障害検診で得られた情報を調査して行います。広島野球障害検診プロジェクト委員会において、保管されている検診データから氏名や住所などの個人情報削除し、誰のデータか分からないように匿名化したデータが、本学へ提供されます。匿名化データを共同研究機関</p> |

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5232

広島大学病院整形外科 准教授 中島祐子、講師 横矢晋、助教 原田 洋平

研究機関：広島大学